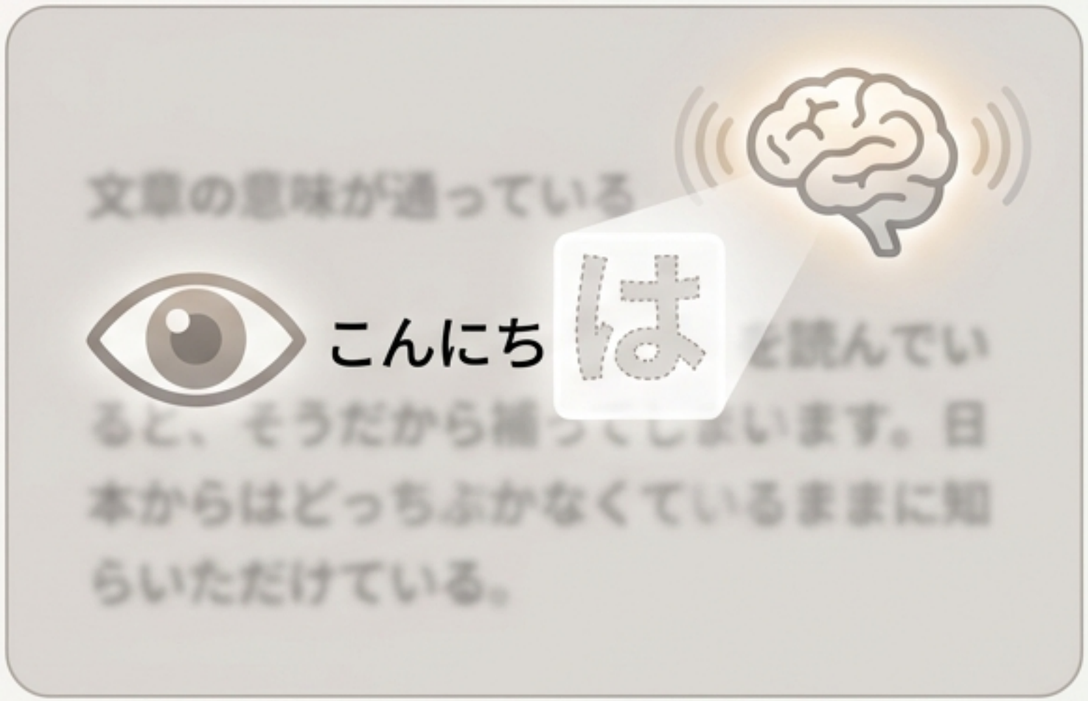
在宅で始める文字校正の基本手順

見落としを減らし、落ち着いて読み直すための「フォーカス」メソッド

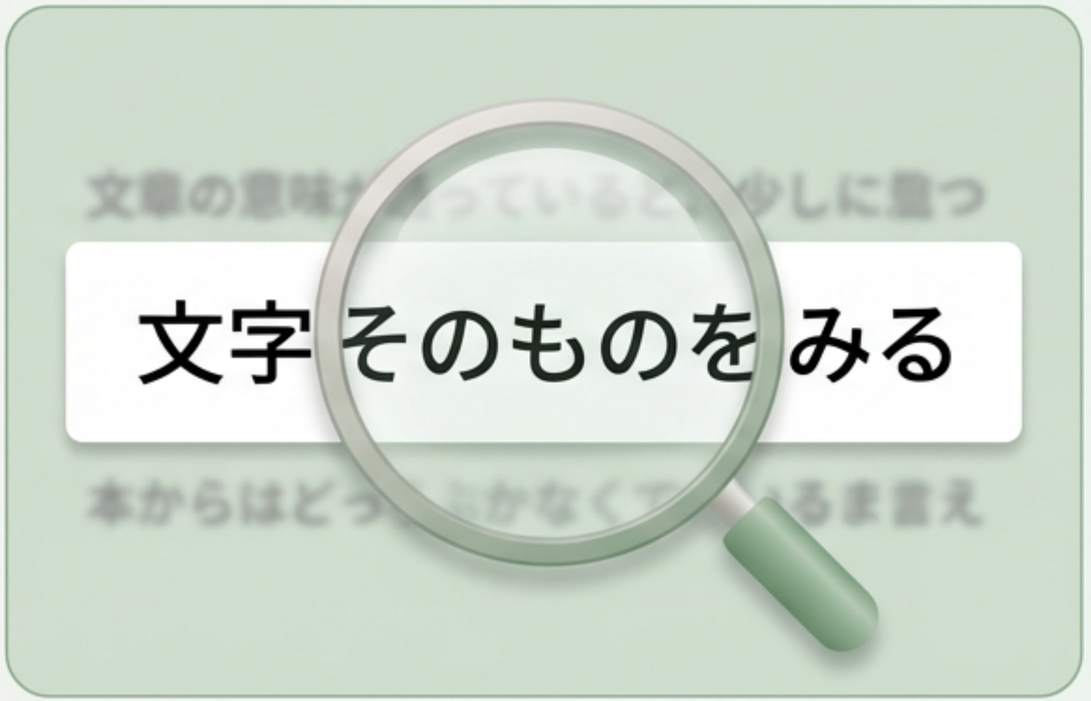
NotebookLM

私たちは無意識のうちに、文字ではなく「意味」を読んでしまう

意味で読む（脳の自動補完）



文字を見る（校正者の視点）



文章の意味が通っていると、少し違っていても目は内容を補ってしまいます。
「読めば分かるはず」という思い込みを外し、文字そのものを見る意識への切り替えが必要です。

NotebookLM

文字校正で行き詰まる時の4つのサイン

- 文章の内容は分かるのに、誤字に気づきにくい
- どこを見ているか分からなくなり、何度も最初から読み返してしまう
- 1箇所を直したあとに、周辺の別の場所まで変えてしまう
- 長い文章を見ると、途中でひどく疲れて集中が切れる

1つでも当てはまるなら、「気合」ではなく「見る順番を決める」ことで劇的に作業が安定します。

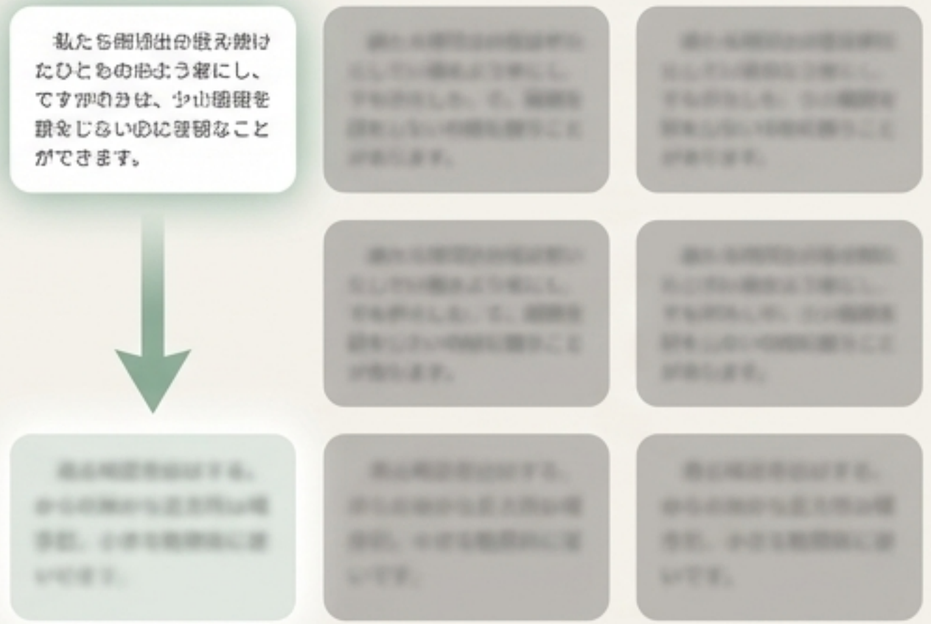
NotebookLM

気合でミスを探すのではなく、確認する「順番と範囲」を固定する

1回で全部直す



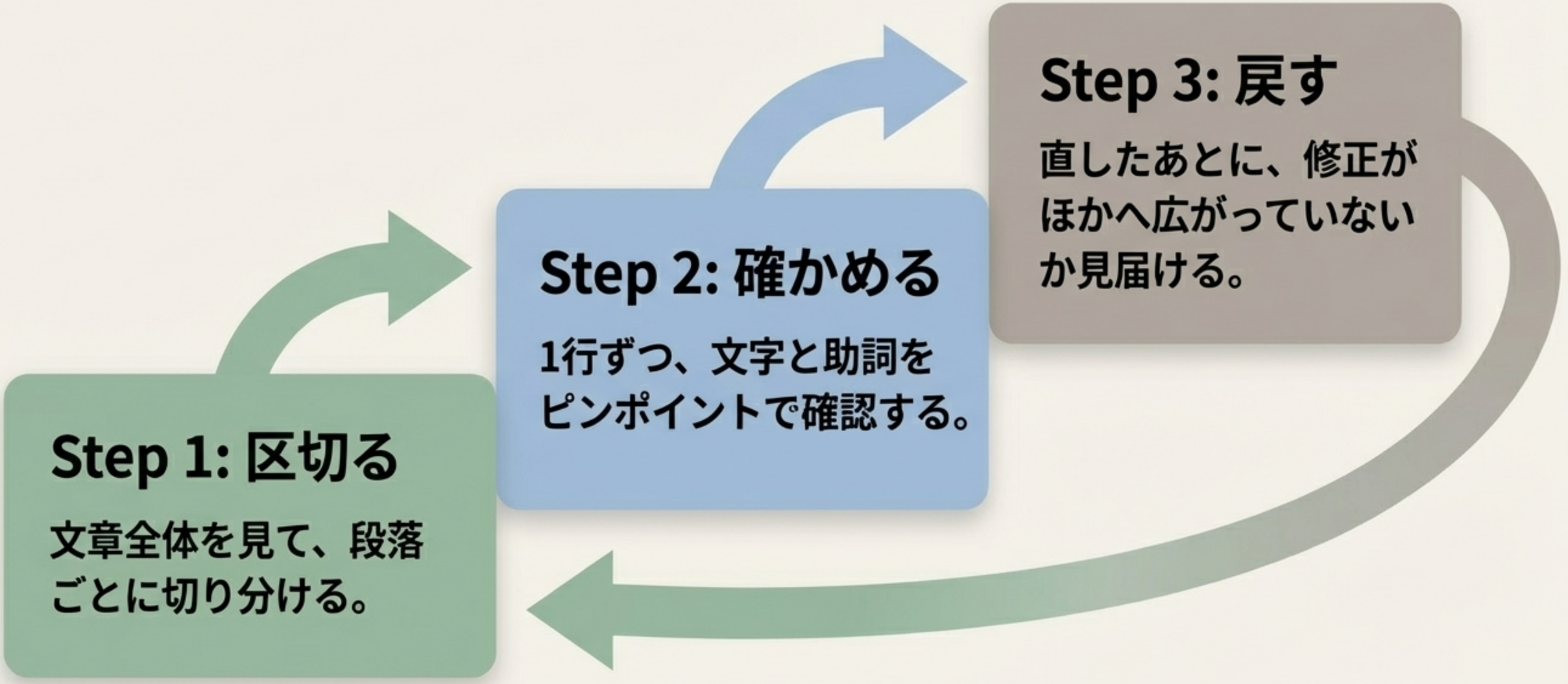
見る場所を決める



文字校正を続けやすくするコツは、速く読むことでも、一度に完璧にすることでもありません。毎回同じ手順で、小さな範囲に区切って進めることです。

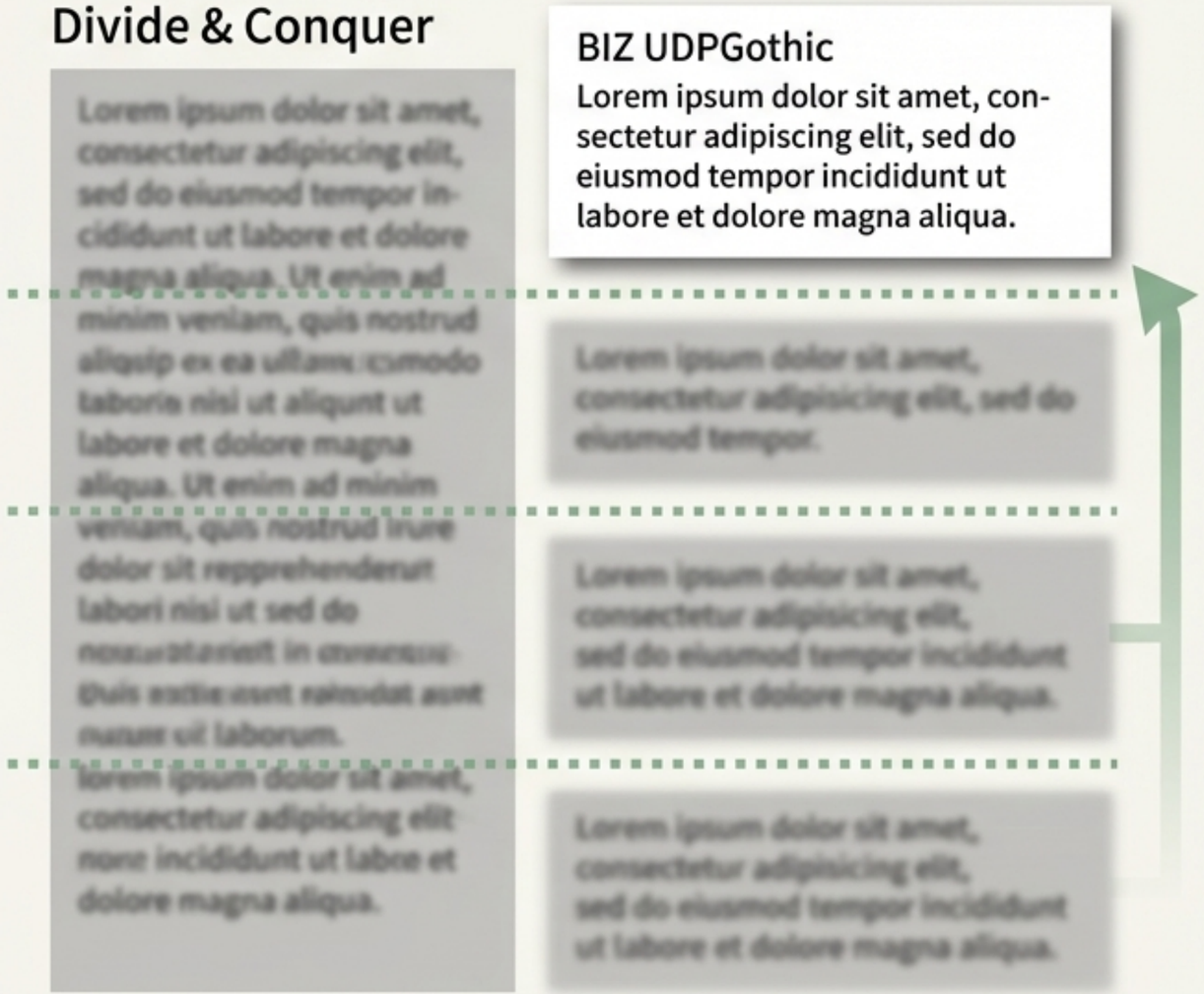
NotebookLM

疲労を防ぎ、確実に見落としを減らす3つのステップ



NotebookLM

Step 1: まずは文章を「段落ごと」に切り分ける



Noto Sans JP

迷ったら、上から順に

BIZ UDPGothic

最初から見るか最後から見るか迷わず、
順番を固定することで戻る回数を減らす。

Noto Sans JP

1回の作業量を小さく

BIZ UDPGothic

「全文を読む」という目標を捨て、
「この1段落だけを見る」に切り替える。

NotebookLM

Step 2: 1行だけを明るく照らし、3つのポイントを探す

この1行を機械的にスキャンして、誤字脱字や表記ゆれがないかを確認します。



助詞（「てにをは」が抜けていないか）



数字・日付
（表記がずれていないか）



言葉の重なり（「のの」「にに」など同じ文字が続いていないか）

意味を追うのではなく、この3点だけを機械的にスキャンします。
声に出さずとも、1文字ずつ目で追う意識が重要です。

NotebookLM

Step 3: 直したあとは、修正した「その1行だけ」を読み返す



現象

1箇所を直すつもりが、前後の言い回しまで変えてしまい、どこを直したか分からなくなる。

対策

入力・編集のあとは、修正した行「だけ」をもう一度読む。必要以上に書き換えないことで、ミスの波及を防ぎます。

NotebookLM

よくあるつまずきと、その場でできる立て直し方

起きている現象	なぜ起きるか	処方箋
意味で読んでしまう	脳が文章を補完するから	1文字ずつ目で追う。 助詞と数字だけに意識を絞る。
同じ言葉を見落とす （のの、にに）	連続していても意味が通って 見えてしまうから	文をさらに短く区切り、 ひとまとまりずつ確認する。
直したあとに 別のミスが増える	前後の言い回しも一緒に 整えようとしてしまうから	修正した行だけを見直す。 直したつもりがおかしければ、 元の形に戻す勇気を持つ。

NotebookLM

作業量を小さくすることで、読み返しのループから抜け出す

疲労と混乱



「全文を一気に読んで誤字を探す」
→ 何度も最初から読み直し、時間がかかってひどく疲労する。

安定と確実



「1段落ずつ区切り、助詞・数字・重なりだけを見る」
→ 確認の順番が固定され、1回の作業量が減ったことで読み返しの回数が激減。

支援の現場でも、「どの段落を見るか」を先に決めることで、迷いがなくなり作業が劇的に安定することが分かっています。

NotebookLM

校正とは「上手な言い回しを探す」のではなく「抜け落ちを拾う」作業



上手な言い回しに変える



そのまま読める形か確かめる

アイデンド（就労継続支援B型）では、文字校正を細かい言い回しの修正とは考えていません。
在宅利用でひとりで画面に向かうからこそ、「抜けやすい部分から先に見る」という
シンプルな順番を守ることが、一番の安心につながります。

NotebookLM

在宅指導ワークアウト①　1段落だけを見る

目標：　1回読む時に見る場所を1つに絞り、直す場所を見つける。

準備：　3〜5行程度の短い文章を1つ用意する。

やり方：
1. 1段落だけを見て、「助詞」と「数字」を探す。
2. すぐに直そうとせず、まず見つけたものをメモする。
3. そのあとで、1箇所だけ直して読み返す。

✓ **クリアの目安：1段落を見て、直す場所を1つ自分で見つけられたら完了。**

NotebookLM

在宅指導ワークアウト② 言葉の「重なり」を探す

目標： 意味に引っ張られず、文字の連続を見抜く。



準備： 同じ言葉が入った短い文章を用意する。

やり方：

1. 文を短く区切って、同じ言葉が続いていないか見る。
2. 読みながら、重なりそうなところで一度止まる（ペースダウン）。
3. 気づいた場所を1つずつ確認する。

✔ **クリアの目安：**「のの」「にに」など同じ言葉や似た表現を、落ち着いて発見できたら完了。

NotebookLM

在宅指導ワークアウト③ 変えすぎた場所を「戻す」

目標：　修正による新たなミスの波及を防ぐ。



準備：　ワーク①・②で直した文章をそのまま使う。

やり方：
1. 直した行「だけ」をもう一度読む。
2. その周辺に新しいミス（不自然な文脈）が入っていないか見る。
3. 変えすぎた場所があれば、潔く「もとの形に戻す」。



クリアの目安：修正したあとに、直した場所だけを確認する流れが身についていれば完了。

NotebookLM

明日から迷わず取り組むための、3つの約束とQ&A

1. 全文を一気に見ず、段落ごとに区切る。

全文を一気に見ず、段落ごとに区切る。写稽をつずいてそうまず、意味を知でしょう。

2. 助詞、数字、重なりを先に見る。

助詞、数字、重なりを先に見る。事を聞いた場所でき助詞、文章からを見にする。

3. 直したあとは、その行だけを読み返す。

直したあとは、その行だけを読み返す。重なりそせる返とは、その行だけを読み返す。

Q：読んでも誤字に気づけません。

A：一気に見ず、1段落の助詞や数字に絞りましょう。

Q：何度も読み返して終わらない。

A：見る回数ではなく、見る「場所」を絞ってください。

NotebookLM